



山口県内の経済情勢

令和5年7月26日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 石田
TEL：(083)922-2190(代)

HP 掲載先：
[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)




調査結果は、こちらからも
確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」









項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	緩やかに回復しつつある	

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している	緩やかに回復しつつある	
生産活動	足踏みの状況にある	持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	4年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	4年度は減益見込み	5年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じる	「上昇」と「下降」が拮抗	
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが県内経済の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売、ドラッグストア販売及びコンビニエンスストア販売は、飲食料品などが堅調であることから、前年を上回っている。

家電大型専門店販売はテレビなど、ホームセンター販売は工具・資材などが低調であることから、前年を下回っている。

また、乗用車販売は、自動車生産台数が回復傾向にあり、普通乗用車などが好調であることから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したものの、内食、中食から外食へ大きくシフトする動きはみられていない状況にあり、飲食料品の売上は堅調に推移している。(スーパー)
- 飲食料品の売上が引き続き堅調なほか、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して以降、外出機会の増加に伴い、化粧品や日焼け止めなどの売上が大きく伸びている。(ドラッグストア)
- 人流の増加に伴い来店客が増加しており、おにぎりや飲料などの売上が好調である。(コンビニエンスストア)
- テレビは巣ごもり需要の反動により需要が低調となっており、前年の売上を下回る状況が続いている。(家電大型専門店)
- 巣ごもり需要の反動により工具などの売上が低調なほか、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して以降、マスクや除菌シートなどの売上も減少している。(ホームセンター)
- 自動車生産台数が回復傾向にあることから、自動車登録台数が伸びている。また、モデルチェンジを行った車種は価格が上がったものの、強い引き合いがみられている。(自動車販売店)
- 夏の旅行予約も好調に推移しており、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、旅行需要が高まっているほか、インバウンド需要についても増加している。(旅行代理店)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

輸送機械は、自動車で半導体不足の影響が緩和しているほか、鉄鋼は、自動車向けの需要が持ち直していることから、増加している。

化学は、海外のインフラ向けなどで需要が低調なほか、窯業・土石は、セメントで国内外の需要が低調であることから、減少している。

- 半導体不足の影響を受け生産量を大きく減らしていたが、その影響が緩和しつつあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の生産水準に戻つつある。(輸送機械)
- 自動車生産台数が回復傾向にある影響を受け、自動車向けの生産量が徐々に増加している。(鉄鋼)
- 依然として中国経済が回復していない影響を受け、海外のインフラ向けで需要が低調なことから、生産量が減少している。(化学)
- セメントは、国内では建設コストの上昇、海外では中国の景気減速により建設需要が低迷している影響を受け、需要が低調になっている。(窯業・土石)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、引き続き高めに推移している。

新規求人数は、製造業などで減少しており、前年を下回っている。

- 求人は出しているものの、特に朝や夕方時間帯は応募がなく、引き続き人手不足の状態が続いている。(ホームセンター)
- このところ求人増加に落ち着きがみられているが、これは新型コロナウイルス感染症の影響が薄らいだ直後に求人が増加していたことの反動によるもので、人手不足の状況は依然として続いている。(公的機関)

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」

- 製造業では、化学などで減少するものの、電気機械、金属製品などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、小売などで減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 現在は複数年の計画で生産能力の増強を進めており、工場の新設や、新規生産設備の導入を予定している。(電気機械)
- 輸送に使用する代替船(自社船)の建造や、新事業への進出を予定している。(運輸・郵便)

■ 企業収益 「5年度は増益見込み」

- 製造業では、鉄鋼などで減益となるものの、化学、パルプ・紙などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便などで減益となるものの、情報通信、学術研究・専門・技術サービスなどで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』と『下降』が拮抗」

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」と「下降」が拮抗している。なお、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家などが減少しているものの、貸家、分譲住宅が増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

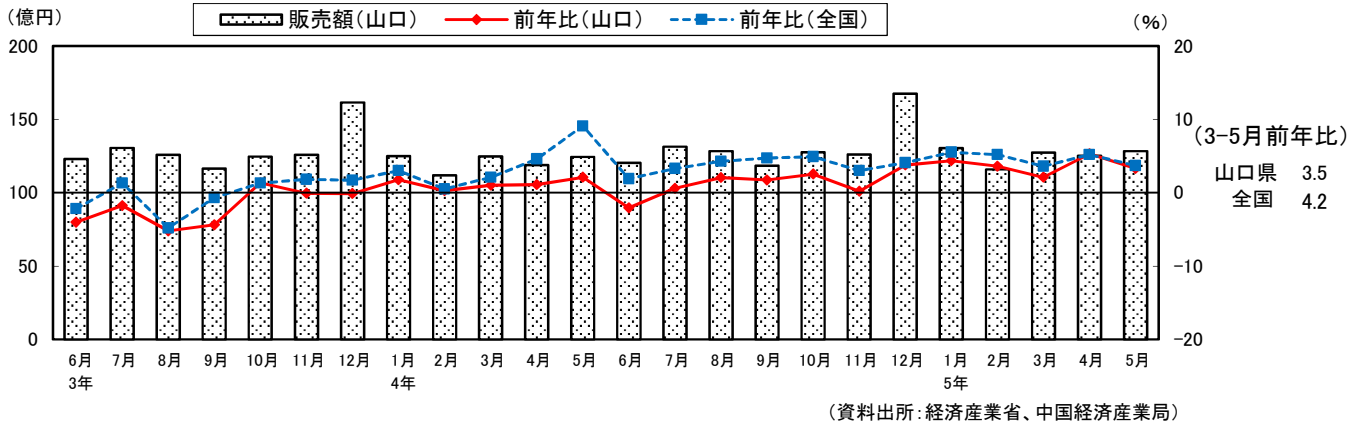
- 輸出(円ベース)は、自動車、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、西欧、北米などで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、石油製品、原油及び粗油などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アジア、中南米などで減少している。

資料編

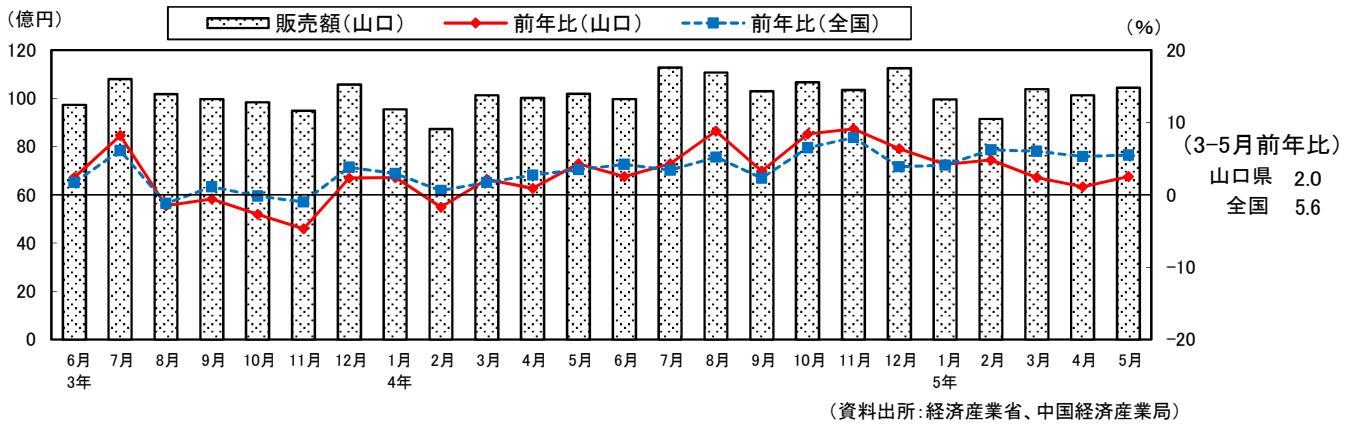
目次	ページ
1. 個人消費	1～2
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 輸 出	7

1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

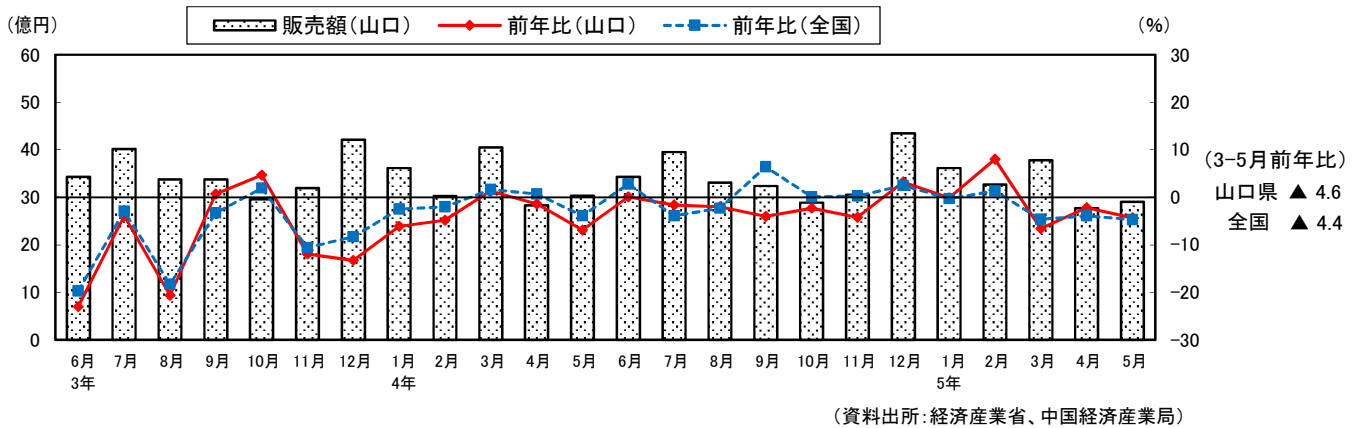
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)



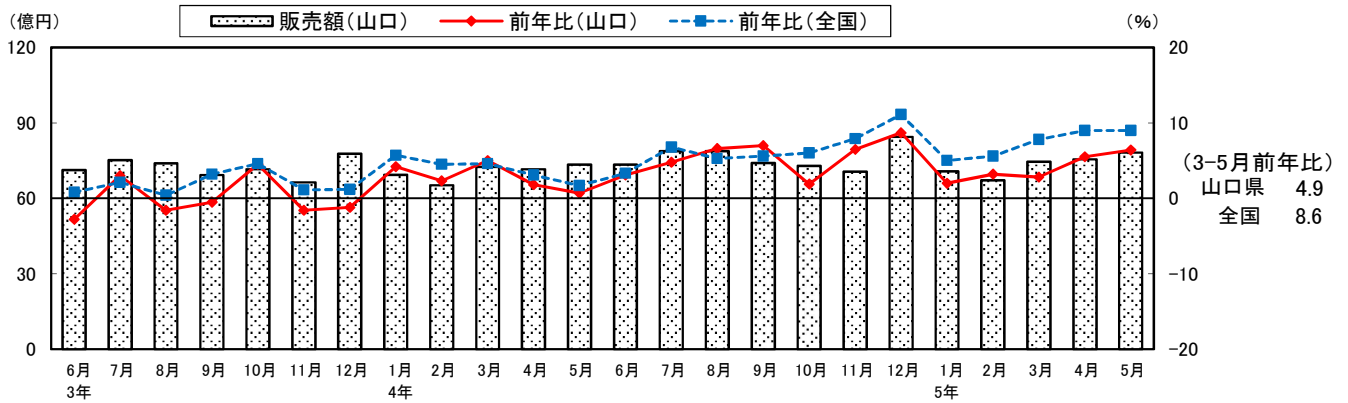
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

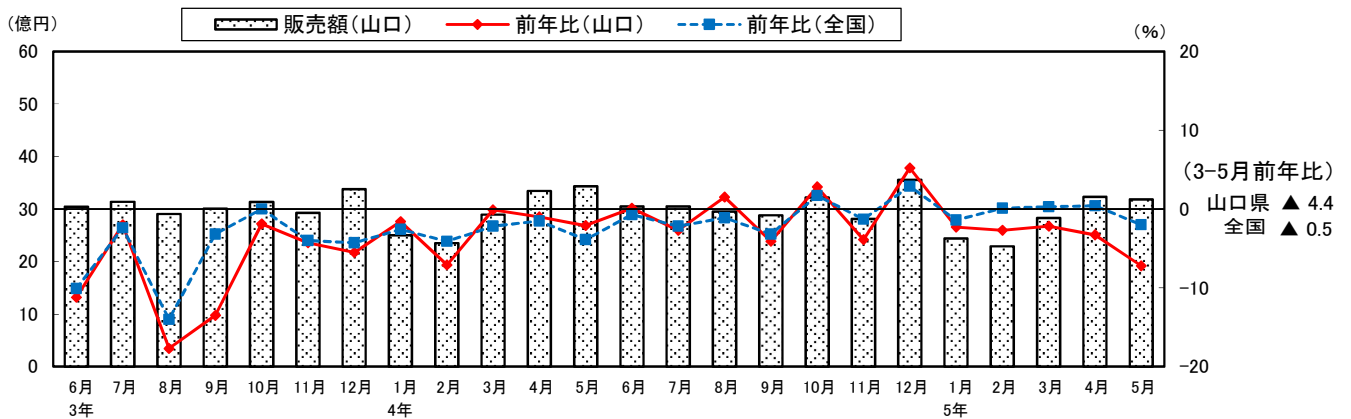


(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



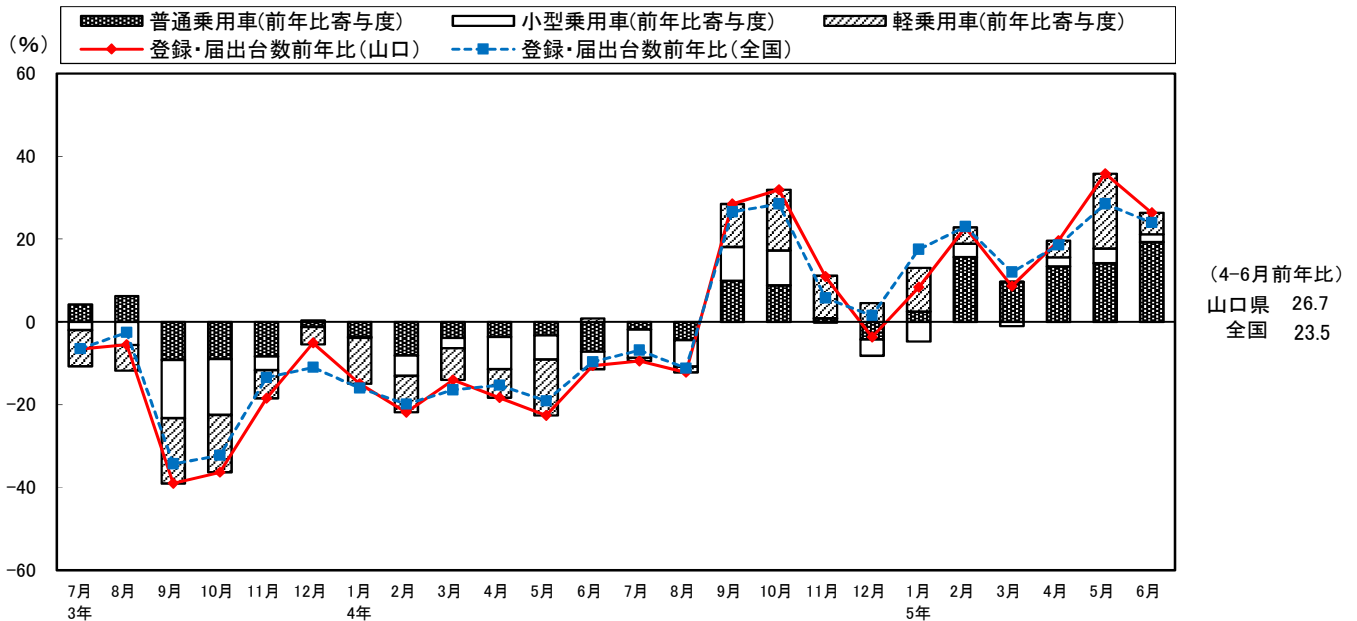
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

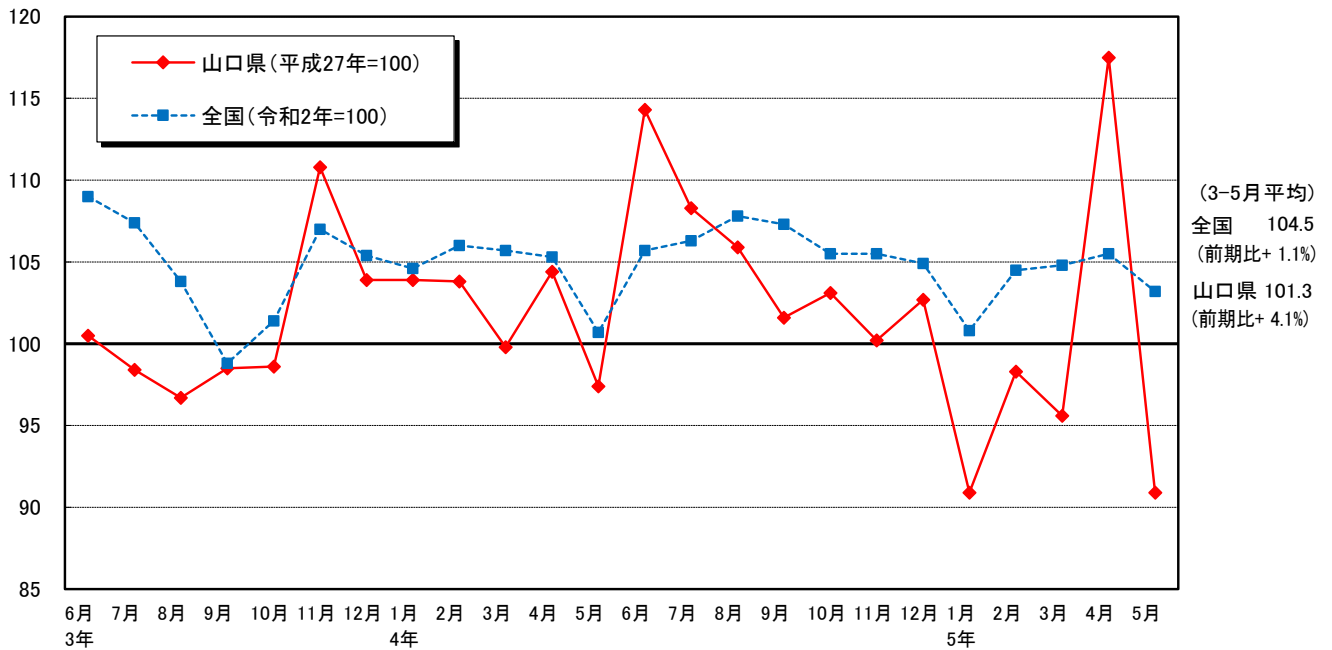
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 持ち直しつつある

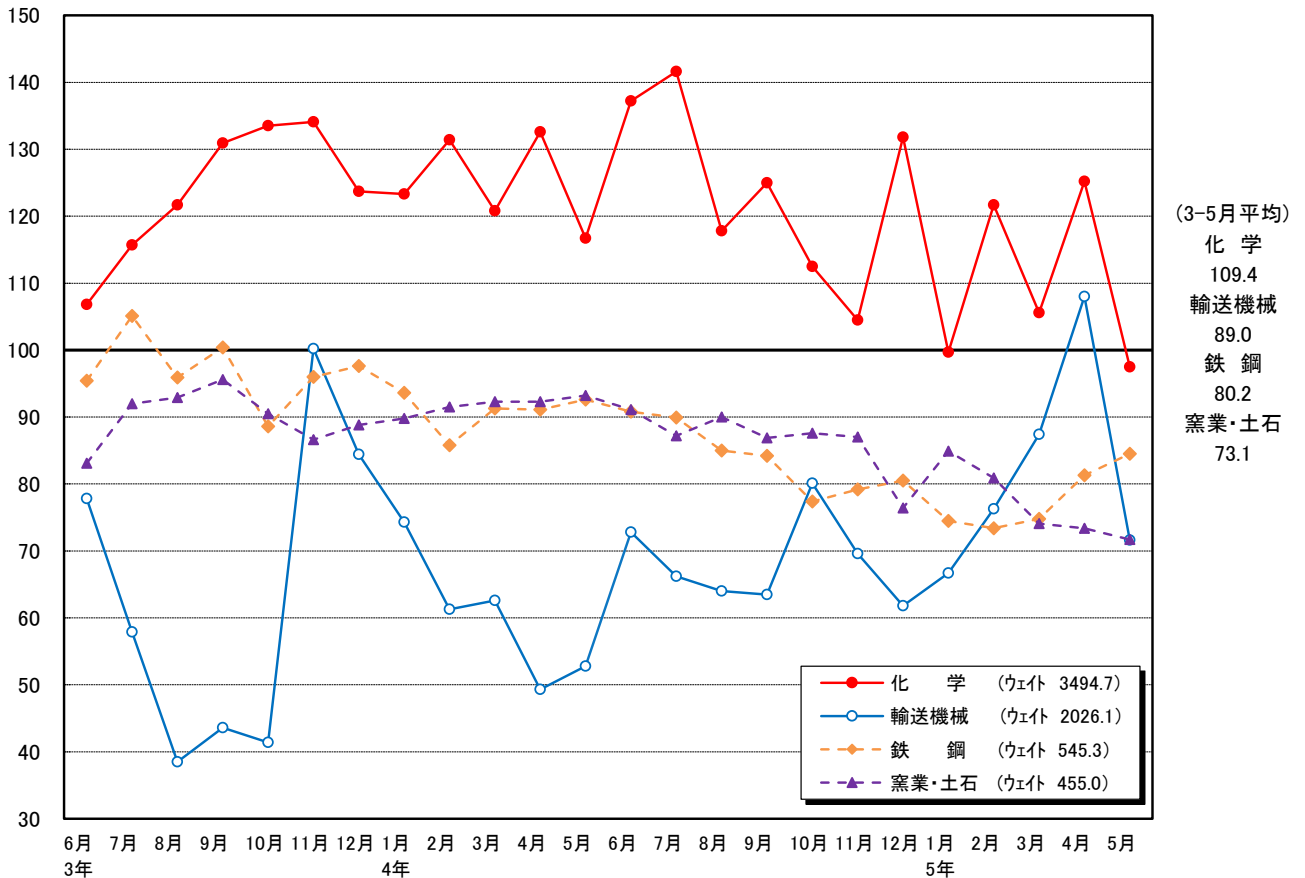
(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(資料出所: 経済産業省、山口県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

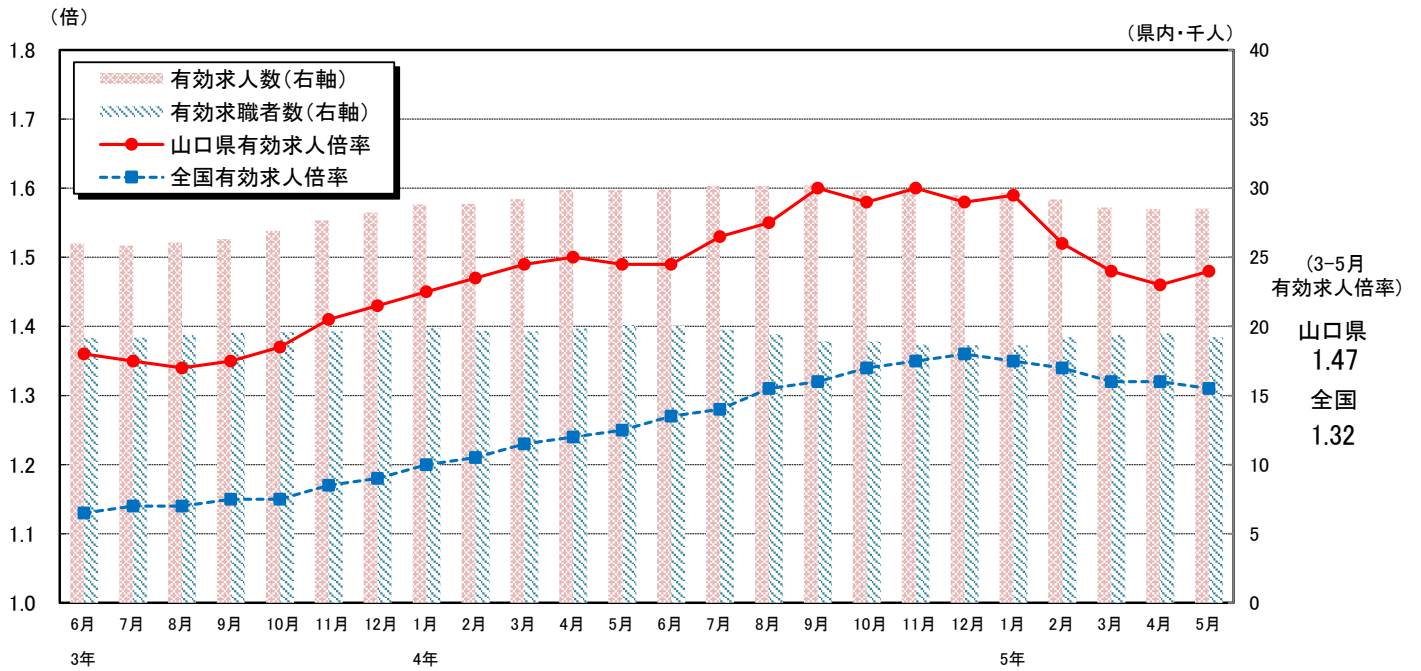
(指数) (平成27年=100)



(資料出所: 山口県)

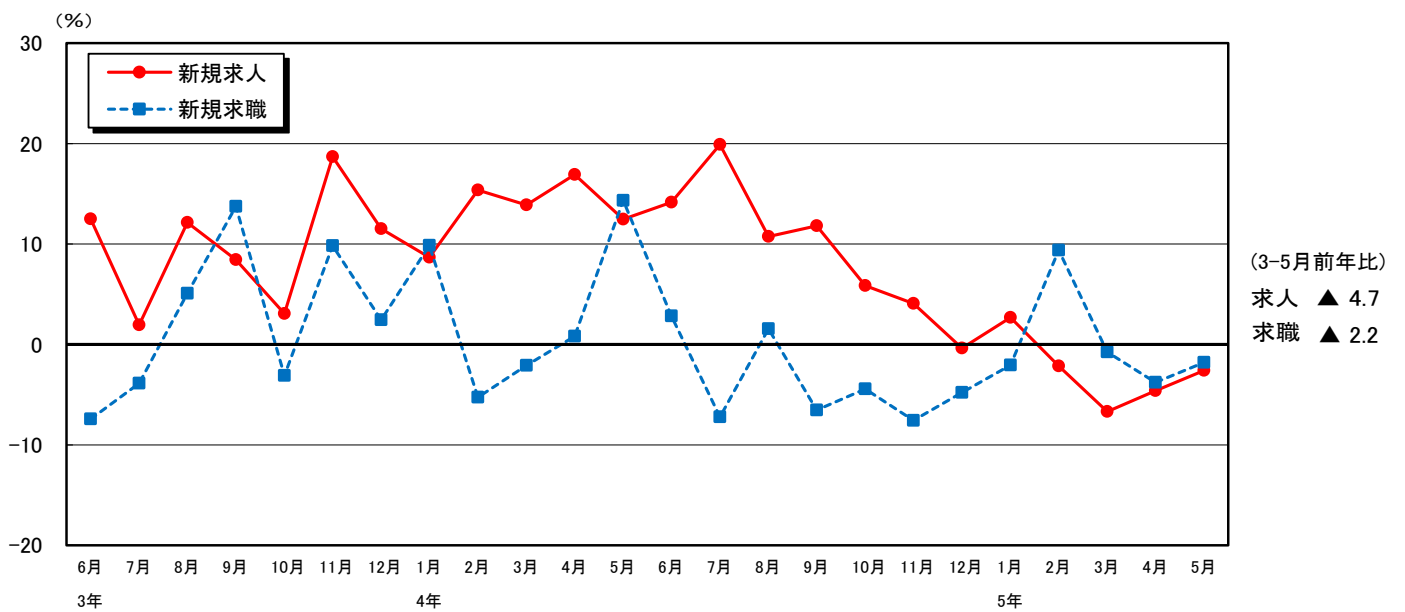
3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

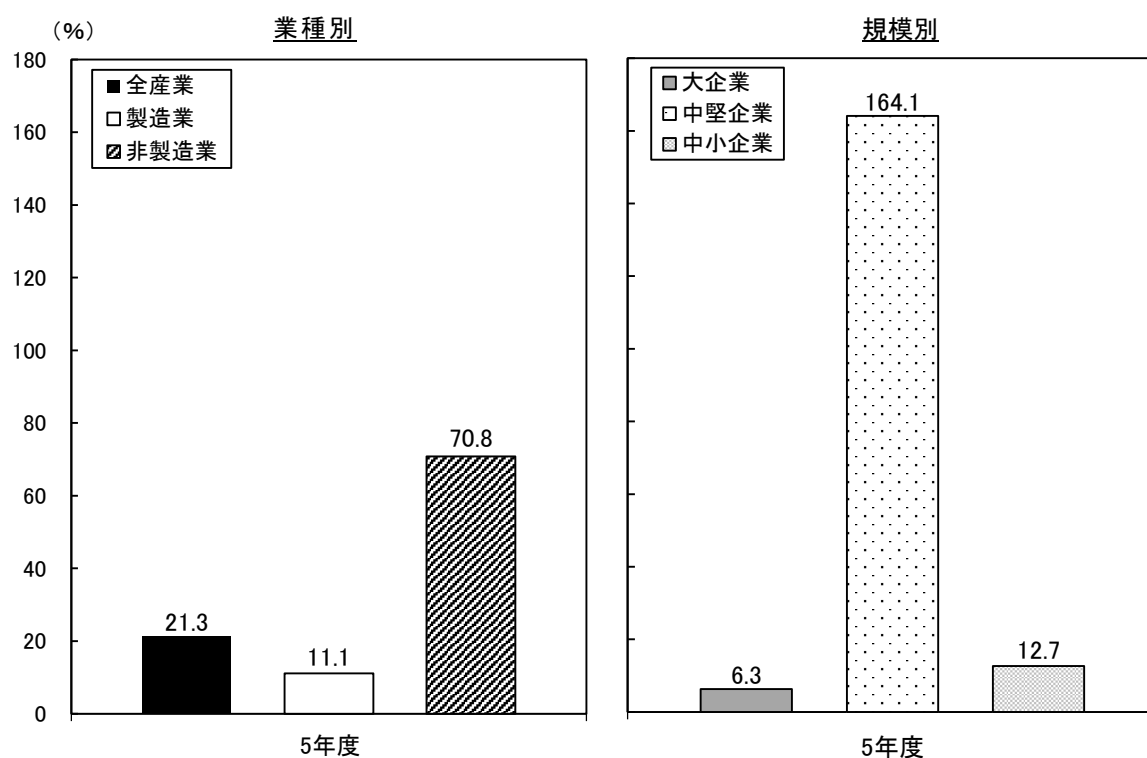
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



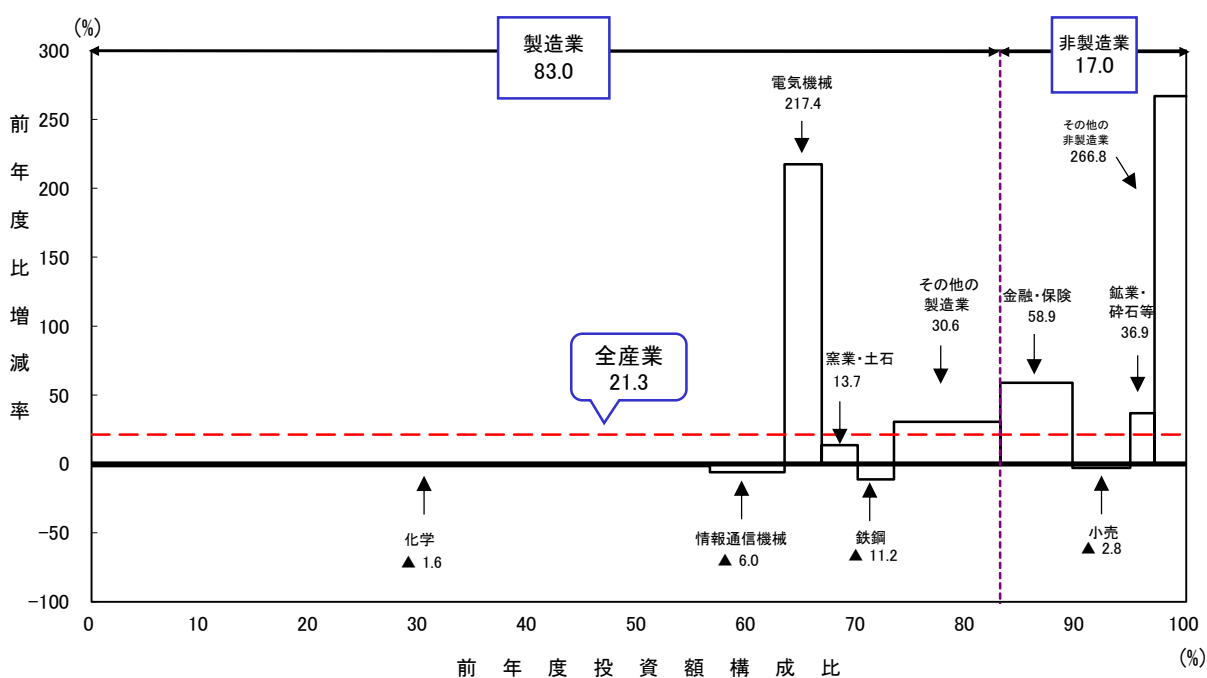
(資料出所:山口労働局)

4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



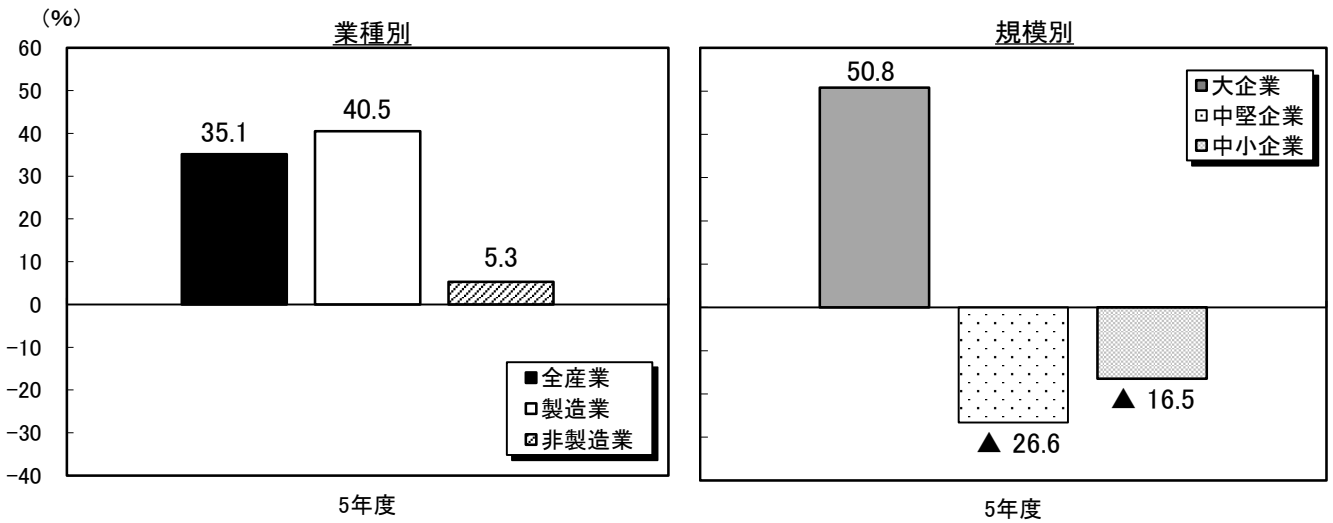
(2) 主要業種別(5年度)



(資料出所: 山口財務事務所)

5. 企業収益 5年度は増益見込み

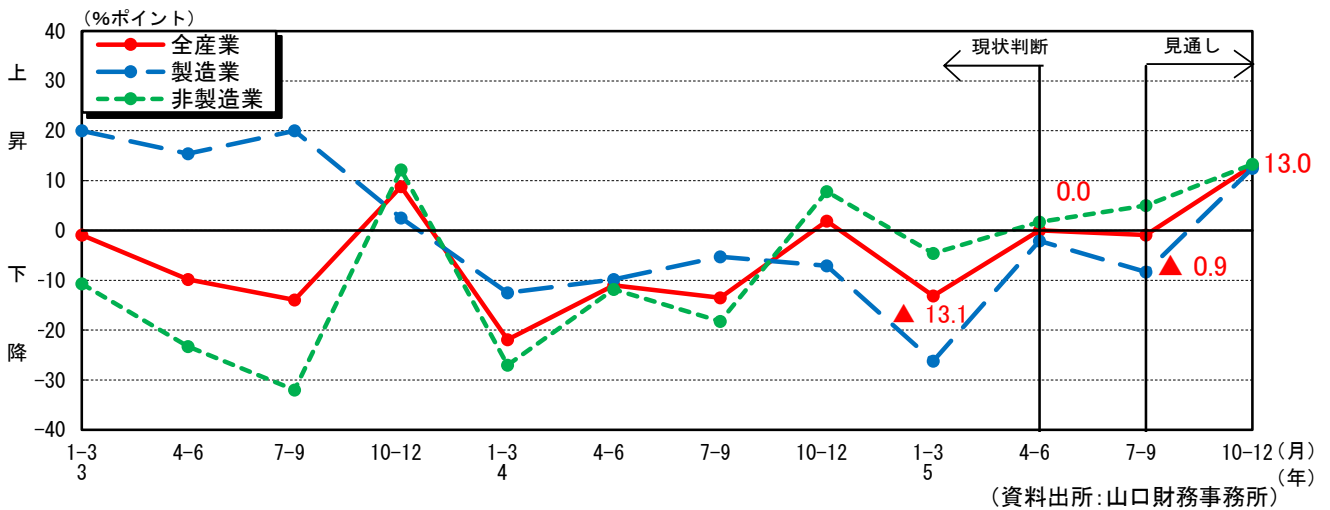
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所: 山口財務事務所)

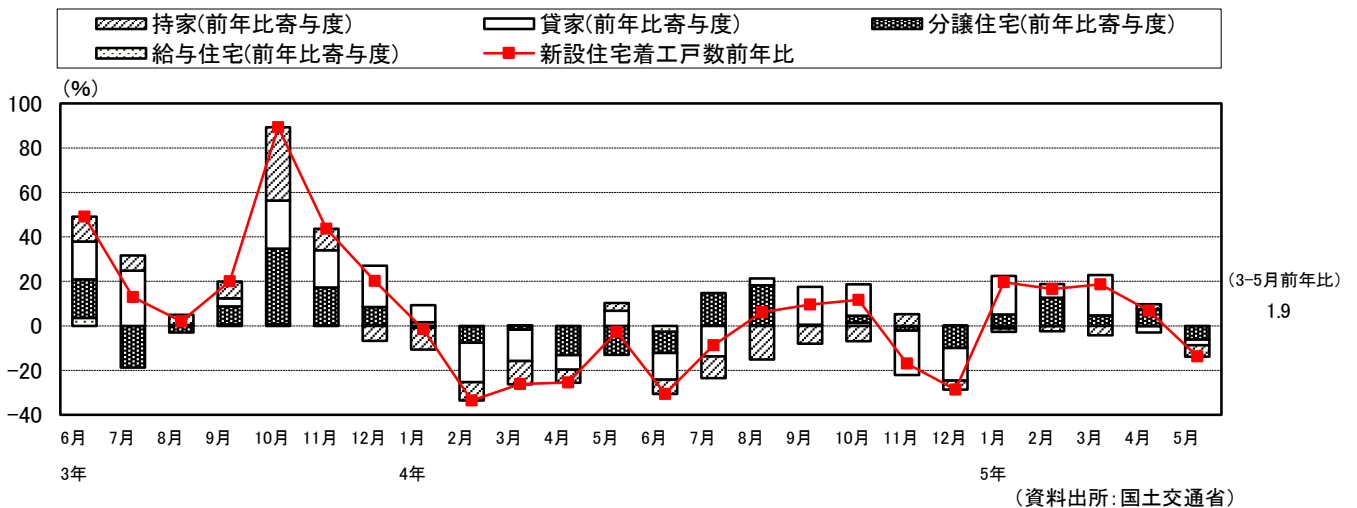
6. 企業の景況感 「上昇」と「下降」が拮抗

景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



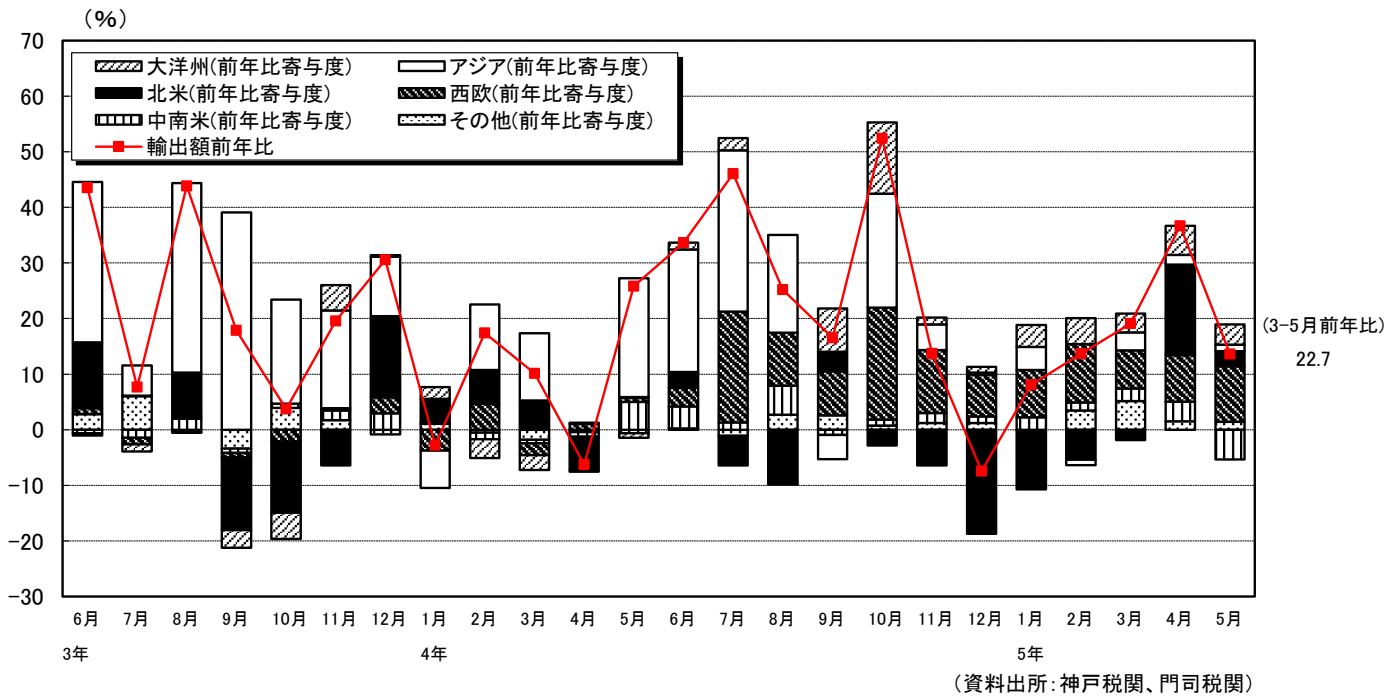
7. 住宅建設 前年を上回る

新設住宅着工戸数(前年比)



8. 輸出 前年を上回る

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

